

2025 年 8 月 14 日
 豪州経済

 りそなホールディングス 市場企画部
 渋谷 和樹

日米欧 Market View:25 年 8 月豪州概況

豪中銀は漸進的な利下げペースを維持する姿勢

要約

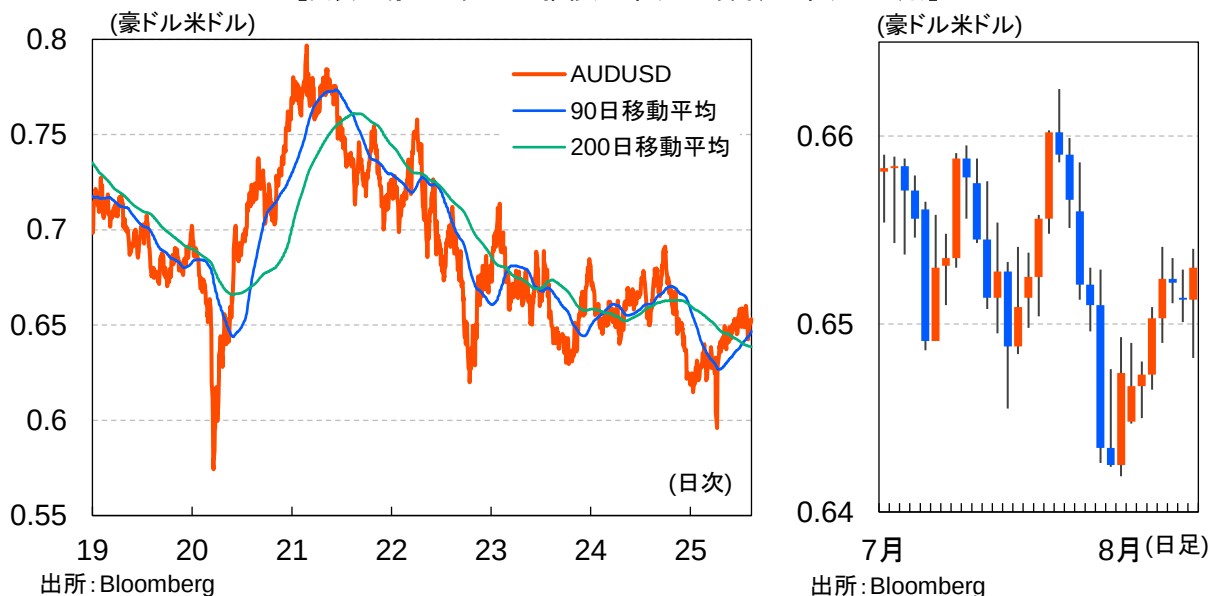
- 7 月の豪ドルは対ドルでは下落、対円では上昇した。
- 対ドルでは 25 年末にかけて現状(1 豪ドル 0.65 ドル)程度で推移しそうだ。豪中銀が慎重姿勢を継続する一方、米 FRB の 9 月利下げ再開可否が目先の注目点となろう。
- 対円では日本国内での政治情勢への懸念などから短期的には円の重い展開となろう。関税に対する懸念が払しょくできれば再度日銀の利上げ観測が高まって、中長期的には上値が限られてこよう。

【為替】

豪ドルは対ドルで下落、対円で上昇

7 月の豪ドルは対ドルでは下落、対円では上昇した(図表 1,2)。8 日の豪中銀会合で市場の予想外に政策金利の政策が決定されたことや、22 日の日米関税合意を受け米関税に対する不透明感が低下したことで、1 豪ドル 0.66 米ドル付近まで豪ドルが買われる場面があった。しかし、月末にかけては、米 EU 間の関税合意後の材料出尽くし感もあり米ドルが買い戻された。対円は参院選で与党の劣勢や財政拡張的な政策が意識されたことから円が売られやすい地合いとなり、月末にかけては概ね 1 豪ドル 96 円台で推移した。

【図表 1: 豪ドル米ドルの推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 カ月)】

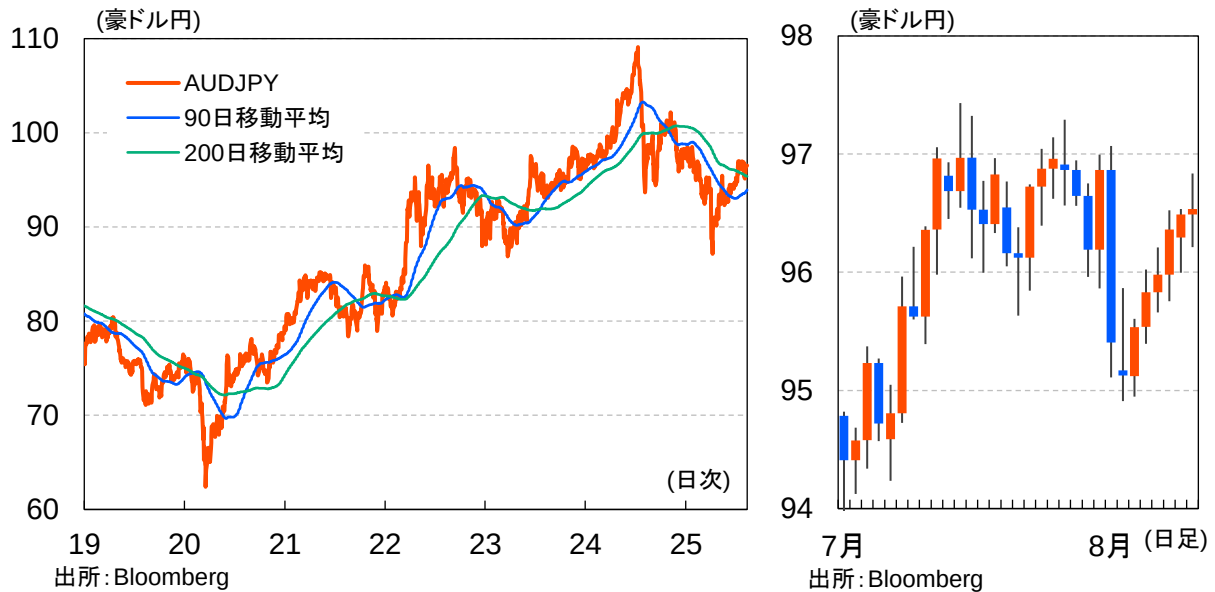


◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

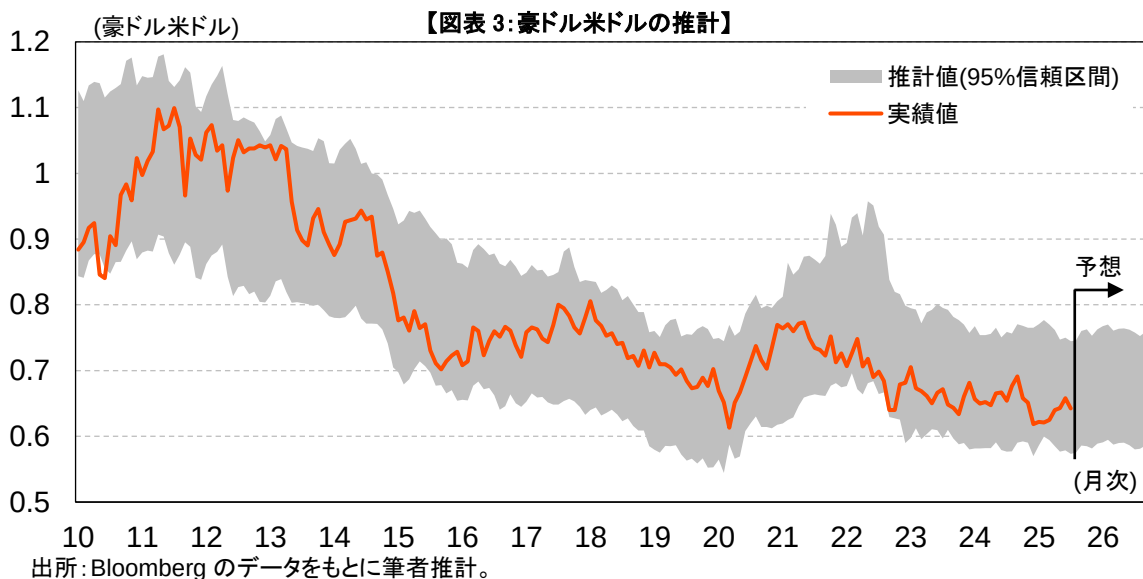
【図表 2: 豪ドル円の推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 ヶ月)】



豪中銀は慎重姿勢を維持。米 FRB の利下げタイミングに注目

8 月以降の豪ドルは、対米ドルは 26 年央にかけて概ね現状程度の水準で推移しそうだ(図表 3,4)。今月は 12 日の豪中銀会合後に一時豪ドルが売られる局面があったものの、同日の米 CPI が市場予想を小幅に下回ったこともあり 1 豪ドル 0.65 ドルの水準を維持している。豪中銀が今後の利下げパスに慎重な姿勢を維持したいま、米 FRB の動向に為替の動きが左右されやすくなるとみられ、目先では 9 月に FRB が利下げを行うかどうか注目となる。

対円は、米国の関税政策に対する過度な懸念が一服したことや、日本国内の政治情勢への懸念などを材料に、短期的には円の重い展開となりそうだ。一方で市場が不安定な状態を脱すれば来年にかけては日銀の利上げ観測が再び高まりをみせると考えられることから、中長期的に豪ドル円の上値は限られてこよう。



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 4: 豪ドルの為替見通し】

		7-9 月	10-12 月	1-3 月	4-6 月
豪ドル 米ドル	レンジ	0.60-0.68	0.60-0.68	0.62-0.70	0.62-0.70
	期末値	0.64	0.64	0.66	0.66
豪ドル 円	レンジ	88-100	88-100	90-102	90-102
	期末値	94	94	96	96

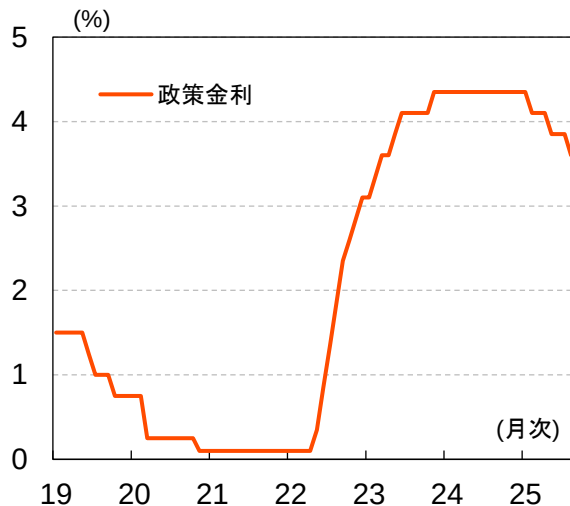
出所: りそなホールディングス

【金融政策】

8 月会合では政策金利の 25bps 利下げを決定

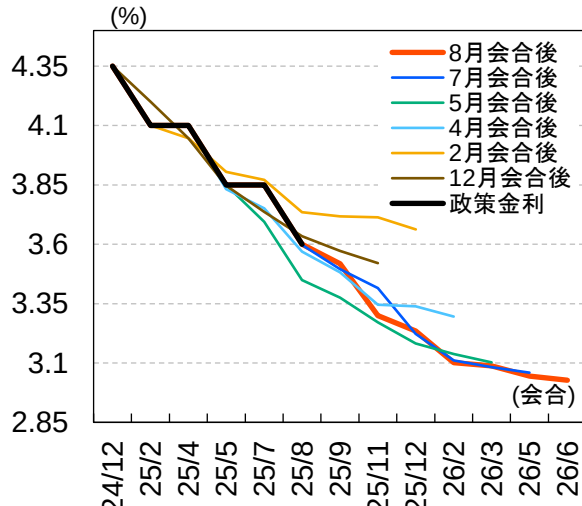
豪中銀は 8 月 12 日の政策決定会合で、政策金利を 3.60%と、市場予想通り政策金利の利下げを決定した(図表 5)。声明では「インフレ率は緩和が続いている」「労働市場は依然としてやや逼迫している」とし、「不確実性が高まっていることを考慮し見通しは依然として慎重を期する」と、慎重に政策判断を進める姿勢を継続した。実質 GDP 成長率の予想が小幅に下方修正されたことなどから、会合直後に一時豪ドルが売られる場面もあったが、金利先物市場の織り込む先行きの政策金利は会合前後で概ね不変だった(図表 6)。筆者は、景気の大きな下振れやインフレの下方リスク顕現などがない限り、3%程度のターミナルレートを想定した、四半期に一回程度の緩やかな利下げパスとなる予想を維持する。

【図表 5: 豪中銀政策金利】



出所: Bloomberg

【図表 6: OIS 市場の政策金利織り込み】



出所: Bloomberg

【景気】

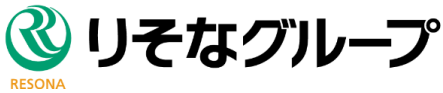
物価・消費: 物価の基調は目標レンジ内で推移

7 月 30 日に公表された 6 月 CPI 総合指数は前年比 1.9%、コア指標として豪中銀が重視するトリム平均値は前年比 2.1%だった。基調的な物価上昇率を示すトリム平均値は物価目標のレンジである 2~3%の間で推移している(図表 7)。総合指数は市場予想(前年比 2.1%)を下振れた結果となり、賃金上昇率の鈍化などを背景に

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

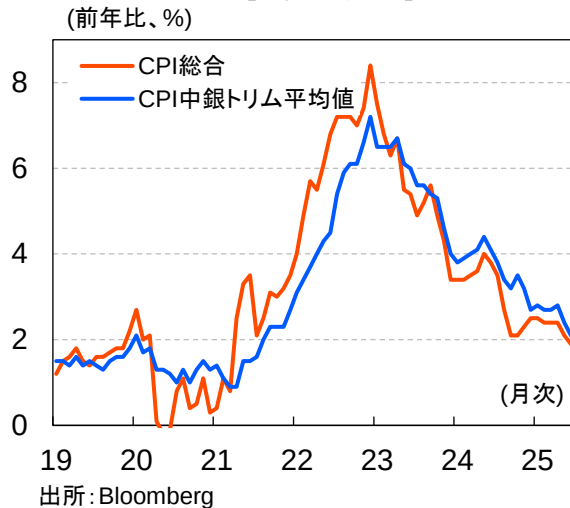
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。



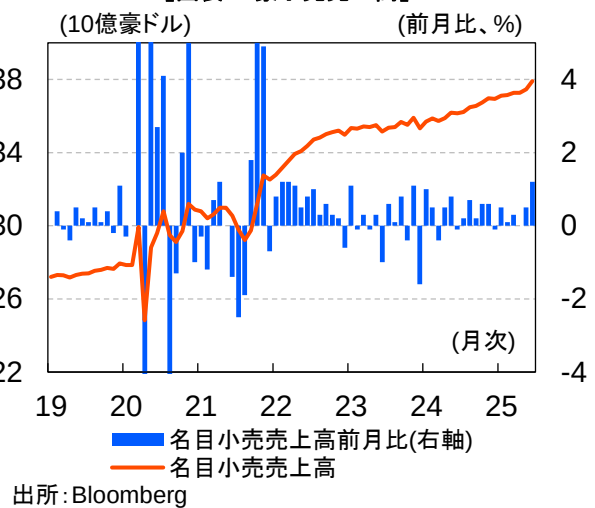
観光・旅行・宿泊関係をはじめとするサービス物価の伸び率が鈍化したことが寄与したとみられる。今年後半には電気代抑制政策実施から1年経過することで、裏が出る形で一時的に総合インフレが再加速する可能性がある。

7月31日公表の6月小売売上高は、前月比1.2%と市場予想(同0.4%)を大幅に上回った(図表8)。衣料品の伸びは一服した一方、食料品や家庭用製品などが大きく伸び全体をけん引した。年央のセールにより消費者の購買意欲が高まったほか、日本企業の新型ゲーム機の発売が上昇の要因になったとみられる。

【図表7: 豪CPI】



【図表8: 豪小売売上高】



雇用: 雇用者は市場予想通り、内訳は正規雇用増加が寄与

8月14日に公表された7月の雇用統計は、前月からの雇用者数変化が+24.5千人(市場予想: +25千人)、失業率が4.2%(市場予想: 4.2%)と、雇用者数の伸びは概ね市場予想通りであった(図表9)。内訳をみると、正規労働者の大幅な増加がみられ、強めの結果であった。最近数か月、強弱を繰り返すような状況が続いており、労働市場緩和の兆候こそみられるものの、全体的には依然として堅調さを維持していると評価できよう。

【図表9: 豪雇用統計】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
202	2025/5/13	日本株	日本株需給(4月28日～5月2日)
203	2025/5/13	米国経済, 日本株, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し 4
204	2025/5/14	米国経済	4月米CPI
205	2025/5/16	日本株	日本株需給(5月7日～5月9日)
206	2025/5/20	豪州経済	25年5月豪州概況
207	2025/5/23	日本株	日本株需給(5月12日～5月16日)
208	2025/5/26	欧州経済	25年第1四半期ユーロ圏賃金動向
209	2025/5/28	コモディティ	25年4・5月WTI原油先物価格
210	2025/5/29	米国株, 日本株	エヌビディアの決算とマーケットへの影響 FY2026 1Q
211	2025/5/30	日本株	日本株需給(5月19日～5月23日)
212	2025/6/3	日本株	日本株5月セクター動向と6月見通し
213	2025/6/3	米国経済	5月ISM製造業景況感指数
214	2025/6/4	欧州経済	25年5月ユーロ圏物価動向
215	2025/6/5	米国株	米国株5月レビューと6月見通し
216	2025/6/6	日本株	日本株需給(5月26日～5月30日)
217	2025/6/6	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
218	2025/6/10	米国経済	5月雇用統計
219	2025/6/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025年6月)
220	2025/6/13	日本株	日本株需給(6月2日～6月6日)
221	2025/6/13	米国経済	5月米CPI
222	2025/6/19	米国経済	6月FOMC
223	2025/6/19	豪州経済	25年6月豪州概況
224	2025/6/20	日本株	日本株需給(6月9日～6月13日)
225	2025/6/24	米国株, 日本株	ROE分解からみえる米ハイテク株の優位性
226	2025/6/26	コモディティ	25年5・6月WTI原油先物価格
227	2025/6/27	日本株	日本株需給(6月16日～6月20日)
228	2025/7/1	日本株	日本株6月セクター動向と7月見通し
229	2025/7/2	米国経済, 米国株	6月ISM製造業景況感指数と米国株見通し
230	2025/7/2	欧州経済	25年6月ユーロ圏物価動向
231	2025/7/4	米国経済	6月雇用統計
232	2025/7/4	日本株	日本株需給(6月23日～6月27日)
233	2025/7/11	日本株	日本株需給(6月30日～7月4日)
234	2025/7/16	米国経済	6月米CPI
235	2025/7/17	豪州経済	25年7月豪州概況
236	2025/7/18	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly (2025年7月)
237	2025/7/18	日本株	日本株需給(7月7日～7月11日)
238	2025/7/25	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
239	2025/7/25	日本株	日米関税交渉と日本株バリュエーション
240	2025/7/28	日本株	日本株需給(7月14日～7月18日)
241	2025/7/30	コモディティ	25年6・7月WTI原油先物価格
242	2025/7/31	欧州経済	25年第2四半期ユーロ圏GDP統計
243	2025/7/31	米国経済	7月FOMC
244	2025/8/1	欧州経済	日本株の7月セクター動向と8月見通し
245	2025/8/1	日本株	日本株需給(7月22日～7月25日)
246	2025/8/4	欧州経済	25年7月ユーロ圏物価動向
247	2025/8/4	米国経済, 米国株	7月ISM製造業景況感指数と米国株見通し
248	2025/8/4	米国経済	7月雇用統計
249	2025/8/8	日本株	日本株需給(7月28日～8月1日)
250	2025/8/13	米国経済	7月米CPI
251	2025/8/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025年8月)

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。